

優秀賞

東安居小学校4年


三澤優弥さん

●研究テーマ

夏のせんたく物干し方大実験 「せんたく物を早くかわかす方法」

動機

夏休みに入って、せんたく物を干す手伝いをするようになった。干し方によってかわき方はちがうのか、早くかわかすにはどうすればいいのかを知りたいと思った。

内容

水にぬらしたタオルを何枚か用意し、いろいろな干し方をして、10分ごとに重さをはかって、かわき方のちがいを調べた。

実験その1 (場所、干し方、色でかわき方はちがうのか)

- ・干す場所(日なた、日かげ、家の中)では、日なたがよくかわく。
- ・干し方(1枚、2枚重ね、3枚重ね)では、1枚がよくかわく。
- ・タオルの色(黒、しましま、黄、青、赤、白)では、こい色がよくかわく。

実験その2 (日光を集めて温度を高くすれば早くかわくか)

- ・アルミホイルをはった板に日光を反しゃさせてタオルに当ててみたが、日光が集まらず、何もしないものと温度も変わらなかった。(実験失敗)

実験その3 (ビニールの中に干して温度を高くすれば早くかわくか)

- ・タオルをビニールでおおえば、温度が上がって早くかわくと思ったが、温度が低いビニールなしのほうがよくかわいた。

実験その4 (風通しをよくしたビニールの中に干せば早くかわくか)

- ・ビニールに切れ目を入れて風通しをよくすれば、温度が高くなるビニールの中のほうがよくかわくと思ったが、切れ目を入れないビニールよりよくかわいたが、ビニールなしが一番よくかわいた。

まとめや感想

せんたく物を早くかわかすためには、「温度が高い」だけではなく、「風通しがよい」ことも大事だということがわかった。

せんたく物は、重ねずに干したり、色のこいものより白いものを外側にして干せばよくかわくことがわかったので、これからは、干し方を工夫しながらせんたく物をかわかしたいと思った。